

第3学年英語科学習指導案

日 時 平成 27 年 11 月 19 日 (5 校時)
学 級 金ヶ崎町立金ヶ崎中学校 3 年 2 組
男子 23 名 女子 16 名 計 39 名
授業者 教 諭 須 貝 沙 緒 里

1 単元名

Program 7 What Is the Most Important Thing to You?
(SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 開隆堂)

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、本当に意味のある国際協力をめざして、世界中でボランティア活動を行って途上国を支援し、また途上国のために働く意欲のある人材育成への取り組みを続ける「国際協力師」、山本敏晴さんの活動について紹介する内容である。そのうち、特に山本さんが取り組んでいる「お絵かきプロジェクト」を通して、アフリカや南太平洋の途上国の現実を見ると同時に、自分の国に夢や希望を持って生きる子どもたちの描いた絵に込められた力強いメッセージを通して、本当の国際協力とは何か、また私たち一人ひとりに何ができるのかを考えさせることができる。

本単元の言語材料としては、主格の関係代名詞 who, which, that が導入される。これらは人やものについて詳しく説明する制限的用法の関係代名詞節であり、後置修飾のひとつである。

生徒は今までに、前置詞句、不定詞の形容詞的用法、分詞と後置修飾の形を学習してきた。本単元で中学校で学習する最後の後置修飾である。口頭での練習や話す言語活動を十分に行い、既習の後置修飾とも関連させながら習熟させたい。

子どもたちや山本さんにとって大切なことは何かを読み解き、彼らの考えや世界の状況をとらえながら、「自分にとって大切なこととは何か」について一人ひとりに考えさせたい。

My Project9 では、自己PR がゴールとなっている。本プログラムで考えたテーマ「自分にとって大切なこと」が My Project9 につながり、自己PR の内容に膨らみをもたせるよう指導していきたい。

(2) 生徒について

本学級は温かい雰囲気であり、お互いの発言をしっかりと聞き、仲間を励ます姿勢が多く見られる。大半の生徒がパフォーマンステストや英作文、各時間の言語活動等に意欲的に取り組んでいる。教師の英語を聞いて、反応しようとする姿勢が見られ、英語で返答をしようとする生徒も少なくない。発言に関しては積極的な生徒は固定化されており、ペアやグループ等少人数で話し合いをさせると、概ね活発に取り組むことができる。一方で、音読が困難であったり、全く英文を書くことができない等、授業についていくことができない生徒もあり、二極化が進んでいる。

学習アンケート (英語授業について 3 年 2 組 27 年 6 月実施)

質問事項	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
1. どの項目が好きですか	47.4	18.4	39.5	36.8
2. どの項目が苦手ですか。	23.7	55.3	34.2	52.6

(複数回答)

7 月に行った意識調査では、「英語の学習に意欲的に取り組んでいますか。」という質問へのプラス傾向の回答が 75% を越え、概ね意欲的に授業に取り組んでいることがわかる。4 技能については、「聞くこと」が好きであり、苦手と感じる生徒の割合も他と比較すると低い。好きな理由として、「ペア活動が好き」「友人の考えを聞くのが楽しい」と答えている割

合が高い。一方で「話すこと」、「書くこと」を苦手と考えている生徒の割合が高い。話すことが苦手な理由として、「自分の考えを話すのが苦手」であること、また書くことが苦手な理由として、「単語の意味が分からない」「語順がわからない」と回答している割合が高い。

2年次からは各プログラムにおいて、与えられたテーマについて書き、チェックを受けた英語をライティングノートに練習し、テストで再度書かせるなど、書く活動に継続して取り組んできた。生徒の英作文を見ると、辞書を使用し与えられたテーマについて平均して50語程度で正しい語順で、接続詞等を用い、考えの根拠など論理的に書くことができる生徒も少なくない。作品の出来とアンケートに見られる生徒の意識とのずれも見られる。正確に書くことに固執すること、日本語での思考力のレベルと英語での表現力のレベルに大きな差を感じていること、また間違いを恐れてしまう傾向もこのアンケート結果の原因の一つではないかと考える。

(3) 指導について

本プログラムでは、関係代名詞を用いて書かれた文章を読み、子どもたちや山本さんにとって大切なことは何かを読み解かせたい。また、彼らの考えや世界の状況をとらえながら、「自分にとって大切なこととは何か」について一人ひとりに考えさせたい。発信力育成のためには、興味深いテーマ、テーマについて言いたい内容・自分の考えがあること、語彙力の3つが必要不可欠である。各プログラムやMy Projectを通して、テーマについて考える力を育てると共に、より効果的な語彙指導を通して、考えを適切に発信することができるような語彙力を育てたい。語彙指導の際には、語彙の数を増やすこと、場面に応じての運用力をつけること、語彙と語彙をつなぐ力をつけることの3点に留意して取り組みたい。

本単元のゴールはCan Do ListのSpeaking(1)「身近なテーマについて、まとまりのある英語60～70語程度の英文でスピーチをすることができる。」にあたる。本単元のゴールである「話す活動」のために、1時間目と7時間目に「書く活動」を行う。「Before」、「After」として、書く活動に単元の初めと終わりに取り組み、生徒自身に思考の変容に気づかせることで、学習意欲の向上につなげたい。

3 単元の指導目標

- (1) 自分にとって大切なものについて60語から70語程度でスピーチすることができる。
【外国語表現の能力】
- (2) 関係代名詞の用法を理解し、人やものについてくわしく説明する別の言い方ができるようにする。
【言語に対する知識・理解/表現】
- (3) 教科書本文を読んで、お絵かきプロジェクト山本さんの生き方・考え方について読み取ることができる。
【外国語理解の能力】

4 単元の評価規準

ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ. 外国語表現の能力	ウ. 外国語理解の能力	エ. 言語や文化についての知識・理解
①辞書を活用するなどして書いている。 ②辞書を活用するなどして読んでいる。 ③作品づくり、発表に積極的に取り組んでいる。	①自分の考えや気持ちについてまとまりのある文章を書くことができる。 ②関係代名詞の意味と用法・文の構造を理解することができる。	①語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を正しく読みとることができる。 ②あらすじや大切な部分を読みとることができる。	①関係代名詞の意味と文構造、用法について理解することができる。

5 指導と評価の計画（10 時間）

	学習内容	評価	
		主な評価基準	評価方法
1	○自分にとって大切なことについて書くことができる。 [Before] ・単元のゴールを確認する ・お絵かきプロジェクトについて知る。 ・シエラレオネにの状況について知る。	・辞書を活用するなどして書いている。(ア-①) ・辞書を活用するなどして読んでいる。(ア-②)	
2	○関係代名詞 who（主格）を使って表現する。 ・関係代名詞 who を使って、人の説明をしている文を加えて、スキットを作成することができる。	・関係代名詞の意味と文構造、用法について理解することができる。(エ-①) ・関係代名詞を正しく利用して人や物について説明することができる。(イ-②)	後日ペーパーテスト
3	○関係代名詞 which, that(主格)を使って表現する。 ・関係代名詞 which を使って、自分のほしい物について説明し、その理由について話すことができる。	・関係代名詞の意味と文構造、用法について理解することができる。(エ-①) ・関係代名詞を正しく利用して人や物について説明することができる。(イ-②)	後日ペーパーテスト
4	○山本さんの活動のきっかけについて読み取ることができる。(教科書 P75)	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を正しく読みとることができる。(ウ-①) ・あらすじや大切な部分を読みとることができる。(ウ-②)	後日ペーパーテスト
5	○2人の子どもの大切なものについて読み取ることができる。(教科書 P76)	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を正しく読みとることができる。(ウ-①) ・あらすじや大切な部分を読みとることができる。(ウ-②)	後日ペーパーテスト
6 本時	○活動の中で山本さんが大切にしていることについて読みとることができる。 (教科書 P78)	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を正しく読みとることができる。(ウ-①) ・あらすじや大切な部分を読みとることができる。(ウ-②)	後日ペーパーテスト

7	○自分の大切なことについて書くことができる。 [After]	・辞書を活用するなどして書いている。(ア-①) ・作品づくり、発表に積極的に取り組んでいる。(ア-③) ・自分の考えや気持ちについてまとまりのある文章を書くことができる。(イ-①)	活動の観察
8	○発表準備をすることができる。	作品づくり、発表に積極的に取り組んでいる。(ア-③)	活動の観察
9	○発表をすることができる。	作品づくり、発表に積極的に取り組んでいる。(ア-③)	パフォーマンステスト

6. 本時の指導

(1) 指導目標

- ・本文を読み、活動の中で山本さんが大切にしていることについて読みとることができる。
- ・自分の大切なものについて、マッピングを用いて考えをまとめることができる。

(2) 指導構想

本時は読みとりの時間である。新出単語の導入では、各単語を簡単な英語で言い換えるなどして、なるべく日本語を介さずに意味を推測させたい。またフォニックスに注目して指導することで、同じ音の単語を挙げるなどして語彙を広げたい。

また、山本さんの大切にしていることについて読みとり、更に考えを深めることで、次時の書く活動に向けて自分の考えを深めさせたい。

(3) 本時の評価規準

観点	A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	C：努力を要する生徒への手立て
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	・くり返して読んだり読み返したりして読み続けている。 ・辞書を使って読んでいる。	・くり返し読んだり読み返したりして読み続けている。	
外国語理解の能力	・あらすじや大切な部分などを読みとることができる。 ○山本さんの活動の内容。 ○山本さんが願っていることは何か。 ○なぜ山本さんはこの活動を続けているのか。 ・本文をもとに、山本さんにとって大切なことについて考え、自分なりの考えをもつことができる。	・あらすじや大切な部分などを読みとることができる。 ○山本さんの活動の内容。 ○山本さんが願っていることは何か。 ○なぜ山本さんはこの活動を続けているのか。 ・本文をもとに、山本さんにとって大切なことについて考えることができる。	・意味の切れ目に斜線を入れるなどして、大意を理解できるように支援する。

